

# 松阪駅西地区複合施設 基本構想



平成 31 年 3 月  
松阪市

## 【1】 基本構想策定の経緯と目的

松阪市は、松阪駅を中心とした中心市街地約170haを対象として『豪商のまち松阪』中心市街地土地利用計画』を平成29年5月に策定しました。駅西地区には、目標年次を中期（概ね10年）として「集客性のある商業施設を誘致し、行政窓口機能の充実に加えて、市民自らが生活の質向上と地域貢献のために集い活動するための市民活動の場を駅西地区において整備する」とし、駅西地区にある市有地を核として活用し、松阪市の玄関口にふさわしいにぎわいを創出できる松阪駅西地区複合施設（以下、複合施設）の位置づけをしました。

この複合施設の計画を進めるにあたり、平成30年度は若者を含めた幅広い年齢層の方を募り、《「駅西ワークショップ」～松阪駅西地区複合施設の基本構想を考える～》を5回開催し、施設を誘致したいことから、複合施設に求める条件などを参加者で議論していただきまとめるものとし、議論していただいたものを「駅西ワークショップ」の成果としてまとめ、それを受ける形で複合施設における「基本理念」、「求める条件（機能）」について考え方を整理し、「松阪駅西地区複合施設基本構想」（以下、基本構想）を策定しました。

## 【2】 駅西ワークショップの内容

第1回  
はじめまして  
～何をする  
ワークショップか  
理解しよう～  
6月23日

第2回  
中心市街地の  
魅力と課題と  
資源を  
共有しよう  
7月21日

第3回  
私たちがほしい  
複合施設の  
イメージを  
考えよう  
8月18日

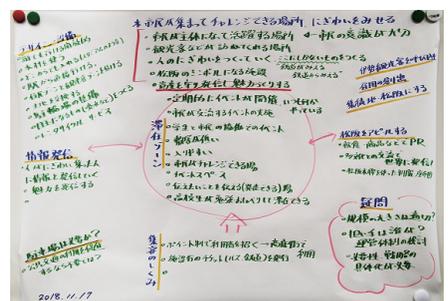
第4回  
アイデアを  
シナリオに  
深めよう  
9月29日

第5回  
複合施設の  
基本構想を  
まとめあげよう  
11月17日

基本構想を策定するにあたって、各テーマを設けて5回のワークショップを実施しました。参加者は公募により広く募集し、10代から70代まで幅広い世代の参加がありました。参加者は62名で、市長から「松阪駅にぎわせ隊」として任命され活発な議論が行われました。参加者の構成は、約4割が女性であり、10代、20代の高校生、大学生が参加者の約半数となっています。

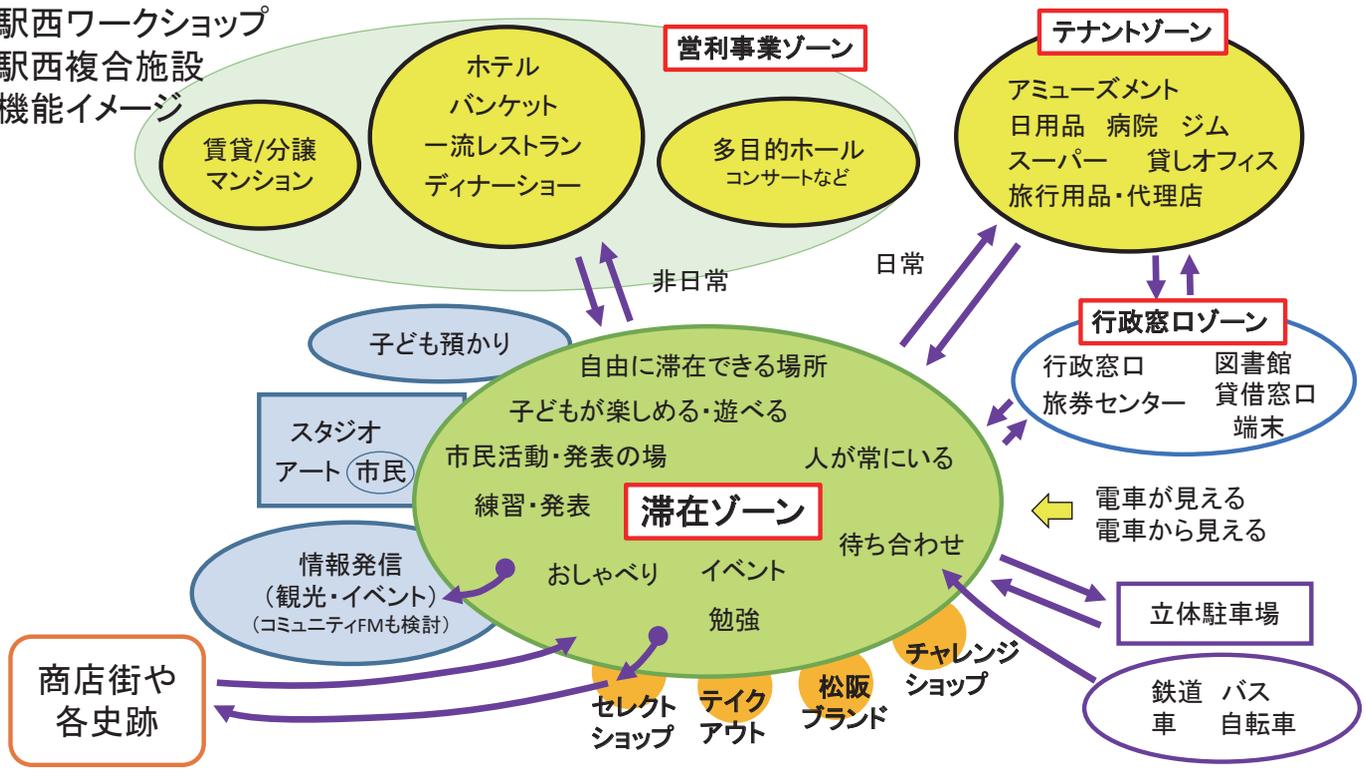
幅広い年代を含む約10名ずつの6グループに分かれて、各回のテーマについて、付箋を模造紙に貼り付けるなどして話し合い、最後に各グループのまとめを発表し、全体で共有しました。毎回、各グループで、多様な年代・立場の参加者から様々な意見が出て、松阪の中心市街地の魅力・課題や複合施設に求めるものについて熱心な議論が交わされました。

第4回目のワークショップについては、「子育て世代を含む若い人が楽しめる施設」「観光を含め、まちのにぎわいを商店街と連携して創り出す施設」、「中心市街地に暮らす住民がより暮らしやすくなるための施設」の3つのテーマにわけ、参加者に好きなテーマを選んでもらってグループ分けを行い、各テーマ（シナリオ）に必要な機能について話し合い、アイデアを深めました。最終回（第5回目）のワークショップでは、これまでのワークショップの結果を反映した複合施設の機能イメージ・コンセプト（基本構想素案）などの確認を行い、それについて参加者がどのように複合施設を活用していくのか、夢を語りました。



### 【3】 駅西ワークショップの成果（まとめ）

駅西ワークショップ  
駅西複合施設  
機能イメージ



### 【4】 基本理念と求める条件（機能）

#### 基本理念 **気軽に滞在、つながる、まちのにぎわい発信源**

- 人が集うことによるにぎわいを生み出す、まちの活力の発信源。  
ここを起点に中心市街地全体が活性化するホットスポット。
- 多様な人がつながり、交流するプラットフォーム。
- 開放的で、自由な空間。誰もがやりたいことにチャレンジできる場所。
- 日常と非日常があり、新たな発見が得られる。そこに行けば、誰がいる、何かがある場。

#### 求める条件（機能）

##### ● 営利事業ゾーンの機能

- ・建設費・維持費が担保できる営利事業施設（バンケット・レストランなどを含むホテル、賃貸・分譲マンションなど）

##### ● 商店街等との連携機能

- ・商店街 PR の場（商店街情報提供場所、セレクトショップ・松阪ブランドショップなど）

##### ● 交通との連携機能

- ・駐車場、駐輪場
- ・松阪駅・バスターミナルとの一体的な動線

##### ● 滞在ゾーンの機能

- ・自由に滞在できる（勉強・おしゃべり・待ち合わせ等）場所
- ・市民活動などの発表の場、市民がチャレンジできる場所
- ・松阪の歴史や文化、地域情報の発信の場所
- ・子どもからお年寄りまでが楽しめる場所
- ・他の機能（ゾーン）とのつながりを生み出す場
- ・開放的な空間とし、鉄道利用者から滞在ゾーンの様子が見える、また、滞在ゾーンから鉄道の往來を眺めることができるような場所

##### ● テナントゾーンの機能

- ・日常生活に必要なモノ・コトを満たすことができる店舗（スーパーマーケット、スポーツジム、娯楽施設、貸しオフィス、貸し会議室など）

##### ● 行政窓口ゾーンの機能

- ・行政手続きができる窓口（住民票などの証明、旅券窓口、図書館の本の貸し借りが出来る窓口など）

【5】 ～駅西ワークショップ参加者「松阪駅にぎわせ隊」の声～

最後のワークショップ  
すごく楽しかったです  
参加してよかったです



ワークショップで  
話し合ったことが  
実現できると  
嬉しいと思います

様々な年代、職業の  
方が混じっている  
のがとても良い  
みんなの意見が  
聞けて  
よかったです



非常に話しやすく  
言いたいことが言えました

雇用創出の場  
になればいいな

意見、若い人  
立派で感動！  
特に高校生  
すごい！



休日ひまになったら  
とりあえず、松阪駅に..  
となるとよい



駅 開発という夢を  
現実に！  
がんばっていきましょう！



若者（学生）が  
情報発信できる場

発表の場で  
輝く高校生たちを  
見たい



松阪愛が  
生まれる場所に！！

鉄道が見える、  
鉄道から見える、  
面白い建物

チャレンジショップや  
市民イベントに  
参加してみたい  
見てみたい

松阪らしさが  
感じられる  
もの



各種イベントの主催者  
になってみたい

子ども～シニアまで  
あらゆる人・グループが  
好きなこと・訴えたいこと  
を発表できる場所

車がなくても  
暮らせる駅前

用がなくても立ち寄りそう  
気軽にこれそう



松阪市建設部都市計画課  
〒515-8515 三重県松阪市殿町 1340 番地 1  
TEL:0598-53-4168 FAX:0598-26-9118  
E-mail:tos.div@city.matsusaka.mie.jp  
※表紙は平成 28 年 12 月 13 日撮影